



2023年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月10日

上場会社名 ライフネット生命保険株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7157 URL <https://www.lifenet-seimei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森亮介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 河崎武士 TEL 03-5216-7900
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期（中間期）の業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 中間純利益 | |
|-------------|--------|------|--------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期中間期 | 14,746 | 16.6 | △2,492 | — | △2,509 | — |
| 2022年3月期中間期 | 12,644 | 28.4 | △1,427 | — | △1,476 | — |

| | 1株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益 |
|-------------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期中間期 | △36.01 | — |
| 2022年3月期中間期 | △24.04 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期中間期 | 68,065 | 18,650 | 27.4 | 267.44 |
| 2022年3月期 | 67,820 | 22,071 | 32.5 | 316.75 |

（参考）自己資本 2023年3月期中間期 18,650百万円 2022年3月期 22,071百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2023年3月期（予想） | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----|--------|------|--------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 通期 | 30,000 | 14.6 | △5,000 | — | △5,000 | — |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 業績予想」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記 (5) 中間財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2023年3月期中間期 | 69,736,419株 | 2022年3月期 | 69,679,538株 |
| 2023年3月期中間期 | 230株 | 2022年3月期 | 158株 |
| 2023年3月期中間期 | 69,698,023株 | 2022年3月期中間期 | 61,422,935株 |

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、当社は2022年11月10日 (木曜日) 午後6時から、機関投資家、アナリスト向けに、決算説明会をオンラインで開催する予定です。説明内容は終了後、当社株主・投資家情報ウェブサイト (<https://ir.lifenet-seimei.co.jp/ja/>) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|----|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績 | 2 |
| (2) 財政状態 | 3 |
| (3) 業績予想 | 3 |
| 2. 中間財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 中間貸借対照表 | 5 |
| (2) 中間損益計算書 | 6 |
| (3) 中間株主資本等変動計算書 | 7 |
| (4) 中間キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (5) 中間財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (会計方針の変更) | 10 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

契約の状況

当第2四半期会計期間の新契約の年換算保険料^{*1}は、前年同期比108.2%の1,137百万円、新契約件数は、前年同期比114.1%の29,864件となりました。また、当第2四半期累計期間の新契約の年換算保険料は、前年同期比96.9%の2,107百万円、新契約件数は、前年同期比100.1%の53,792件となりました。

当第2四半期会計期間末の保有契約の年換算保険料は、前事業年度末比106.7%の22,947百万円、保有契約件数は、前事業年度末比107.1%の543,635件となりました。また、当第2四半期累計期間の解約失効率^{*2}は、6.3%（前年同期6.9%）となりました。

*1. 年換算保険料とは、1回当たりの保険料について保険料の支払い方法に応じた係数を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額をいいます。当社商品の保険料は全て月払いのみとなっているため、1ヶ月当たりの保険料に12を乗じたものを年換算保険料としています。

*2. 解約失効率は、解約・失効の件数を月々の保有契約件数の平均で除した比率を年換算した数値です。

収支の状況

当第2四半期累計期間の保険料等収入は、保有契約の増加に伴う保険料の増加及び修正共同保険式再保険における再保険収入の増加に伴い、前年同期比115.0%の14,146百万円となりました。また、資産運用収益は、主に金銭の信託運用益の増加により、前年同期比215.4%の558百万円となりました。その他経常収益は、41百万円となりました。この結果、当第2四半期累計期間の経常収益は、前年同期比116.6%の14,746百万円となりました。

保険金等支払金は、主に新型コロナウイルス感染症に係る給付金の増加及び修正共同保険式再保険における再保険料の増加に伴い、前年同期比141.1%の5,738百万円となりました。保険金及び給付金支払額の保険料に対する割合は、前年同期の21.0%から25.8%となりました。なお、新型コロナウイルス感染症に係る保険金及び給付金支払額は883百万円です。責任準備金等繰入額は、前年同期比126.3%の4,050百万円となりました。責任準備金繰入額の保険料に対する割合は、前年同期の33.5%から31.9%となりました。資産運用費用は、主に有価証券売却損の計上により、92百万円となりました。事業費は、広告宣伝費を中心とした営業費用の投下等により、前年同期比111.3%の6,551百万円となりました。事業費のうち、営業費用は前年同期比105.2%の4,237百万円、保険事務費用は前年同期比115.1%の713百万円、システムその他費用は前年同期比129.4%の1,600百万円となりました。その他経常費用は、前年同期比88.5%の806百万円となりました。これらにより、当第2四半期累計期間の経常費用は前年同期比122.5%の17,239百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経常利益は、前年同期のマイナス1,427百万円に対して、マイナス2,492百万円となりました。中間純利益は、前年同期のマイナス1,476百万円に対して、マイナス2,509百万円となりました。

また、生命保険会社の収益性を示す指標のひとつである基礎利益は、主に新型コロナウイルス感染症に係る給付金の増加により、前年同期のマイナス1,316百万円に対して、マイナス2,601百万円となりました。内訳は、危険差益852百万円、費差益マイナス3,496百万円、利差益42百万円となりました。

当社は、継続的な力強い契約業績の成長を目指すとともに、財務健全性の維持を目的として、2019年度から新契約の一部（以下、出再契約）を対象とした修正共同保険式再保険を行っております。修正共同保険式再保険は、出再契約のリスク及び収支構造の一部を一定期間再保険会社に移転するもので、当該再保険を活用することで、新契約に係る費用の負担が、会計上の資本を急激に減少させる状況を緩和することが可能となります。具体的には、当該再保険では、新契約獲得の初年度に、出再契約に係る新契約費の一部を出再手数料として収受します。そのため、経常収益が増加します。一方、収受した出再手数料は、再保険貸に資産計上された後、一定の期間において再保険収支に基づいて段階的に償却されます。そのため、当該期間において、経常利益及び純利益は減少することとなります。再保険貸の償却が完了し、再保険契約を終了させると、その後の出再契約の利益は当社に帰属することとなります。以上により、当第2四半期累計期間においては、当該再保険により経常収益は2,786百万円増加（前年同期は2,380百万円増加）、経常利益及び中間純利益は444百万円増加（前年同期は787百万円増加）しております。

(2) 財政状態

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、68,065百万円（前事業年度末67,820百万円）となりました。主な勘定残高として、高格付けの公社債を中心とする有価証券は、48,526百万円となりました。また、再保険貸4,316百万円のうち、修正共同保険式再保険に係る未償却出再手数料の残高は4,116百万円となりました。

負債は、責任準備金が増加したことから、49,414百万円（前事業年度末45,749百万円）となりました。主な勘定残高は、責任準備金46,031百万円、支払備金1,562百万円となりました。

純資産は、中間純損失を計上したこと及びその他有価証券評価差額金が減少したことにより、18,650百万円（前事業年度末22,071百万円）となりました。これには、修正共同保険式再保険の活用により、利益剰余金を増加させる効果を含んでおり、資本の急激な減少を緩和しております。一方、収受した出再手数料は、再保険貸に資産計上された後、一定の期間において再保険収支に基づいて段階的に償却されます。それに応じて、当該期間において、純資産が減少することとなります。

当第2四半期会計期間末のソルベンシー・マージン比率は、3,187.0%（前事業年度末3,182.8%）となり、充分な支払余力を維持しています。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に保険料収入の増加により、983百万円の収入（前年同期1,119百万円の収入）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有価証券の取得により、2,550百万円の支出（前年同期1,965百万円の支出）となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、1百万円の支出（前年同期9,736百万円の収入）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期会計期間末残高は、6,193百万円（前事業年度末7,761百万円）となりました。

(3) 業績予想

当社は、2022年5月12日に発表した2022年度（2023年3月期）の業績予想を以下のとおり修正しました。

(百万円)

| | 経常収益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|
| 前回発表予想 (2022年5月12日) | 30,300 | △3,400 | △3,400 |
| 今回発表予想 (2022年11月10日) | 30,000 | △5,000 | △5,000 |
| (参考) 2021年度実績 (2022年3月期) | 26,167 | △3,245 | △3,319 |

修正の要因

主な理由として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、当該感染症に係る保険金及び給付金の支払いが増加し、当第2四半期累計期間の支払額が883百万円となったことを踏まえ、2022年度における給付金を中心とした支払額が前回発表時の想定を上回る見通しであることから、業績予想を修正しました。

また、保険業法に基づき積立てが義務付けられている支払備金についても、保険金及び給付金の支払額の増加に伴い、想定を上回る金額を支払備金繰入額として計上する見込みであることから、本業績予想の修正にその影響を含めています。

なお、当社は2020年4月より、新型コロナウイルス感染症の診断後、医師等の管理下で宿泊施設または自宅にて療養した場合には「入院」とみなし、入院給付金等を請求できる取扱いとしていました。今般、政府より当該感染症に係る発生届の対象について公表されたことなどを踏まえ、従来の取扱いを見直し、2022年9月26日以降に新型コロナウイルス感染症と診断された場合、入院給付金等が請求できる対象を重症化リスクの高いご契約者に限定しています。これにより、今後において当該感染症に係る入院給付金等の支払いは限定的となる見込みですが、引き続きその動向を注視し、開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせします。

2022年度業績予想の各数値には、修正共同保険式再保険による影響額が含まれています。当該再保険による2022年度の業績予想への影響は、経常収益を約5,900百万円（前回発表時約6,300百万円）、経常利益及び当期純利益を約800百万円（前回発表時約1,000百万円）押し上げる見込みです。これには、過年度に出再した契約に係る再保険貸の償却額を含みます。

事業進捗を踏まえ、保有契約及び新契約の年換算保険料においては前回発表予想を下回る見込みであることから業績予想を変更します。保有契約年換算保険料においては、引き続き2桁パーセント成長を目指します。

(百万円)

| | 保有契約の年換算保険料 | 新契約の年換算保険料 |
|-----------------------------|-------------|------------|
| 前回発表予想 (2022年5月12日) | 24,400 | 4,400 |
| 今回発表予想 (2022年11月10日) | 24,300 | 4,200 |
| (参考) 2021年度実績 (2022年3月期) | 21,511 | 4,089 |

引き続き、当社は、毎四半期における決算発表、業績速報等の実績値の開示の充実など、マニフェストに掲げている積極的な情報開示を推進することで、ステークホルダーの皆さまの当社に対する理解の促進に努めます。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (2022年3月31日) | 当中間会計期間 (2022年9月30日) |
|-------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 現金及び預貯金 | 3,761 | 3,193 |
| 買入金銭債権 | 3,999 | 2,999 |
| 金銭の信託 | 5,460 | 5,635 |
| 有価証券 | 47,425 | 48,526 |
| 国債 | 8,946 | 8,870 |
| 地方債 | 1,469 | 1,450 |
| 社債 | 24,042 | 24,986 |
| 株式 | 492 | 550 |
| 外国証券 | 98 | 497 |
| その他の証券 | 12,375 | 12,170 |
| 有形固定資産 | 97 | 86 |
| 無形固定資産 | 1,293 | 1,271 |
| 代理店貸 | 7 | 8 |
| 再保険貸 | 3,881 | 4,316 |
| その他資産 | 1,892 | 2,027 |
| 未収金 | 1,585 | 1,682 |
| その他の資産 | 306 | 345 |
| 資産の部合計 | 67,820 | 68,065 |
| 負債の部 | | |
| 保険契約準備金 | 43,542 | 47,593 |
| 支払備金 | 984 | 1,562 |
| 責任準備金 | 42,558 | 46,031 |
| 代理店借 | 48 | 75 |
| 再保険借 | 404 | 436 |
| その他負債 | 1,379 | 1,192 |
| 未払法人税等 | 3 | 1 |
| 未払費用 | 1,270 | 1,083 |
| リース債務 | 7 | 6 |
| 資産除去債務 | 34 | 34 |
| その他の負債 | 64 | 66 |
| 特別法上の準備金 | 102 | 115 |
| 価格変動準備金 | 102 | 115 |
| 繰延税金負債 | 271 | — |
| 負債の部合計 | 45,749 | 49,414 |
| 純資産の部 | | |
| 資本金 | 21,655 | 21,676 |
| 資本剰余金 | 21,655 | 21,676 |
| 資本準備金 | 21,655 | 21,676 |
| 利益剰余金 | △21,936 | △24,446 |
| その他利益剰余金 | △21,936 | △24,446 |
| 繰越利益剰余金 | △21,936 | △24,446 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 株主資本合計 | 21,373 | 18,907 |
| その他有価証券評価差額金 | 697 | △257 |
| 評価・換算差額等合計 | 697 | △257 |
| 純資産の部合計 | 22,071 | 18,650 |
| 負債及び純資産の部合計 | 67,820 | 68,065 |

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

| | 前中間会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------|--|--|
| 経常収益 | 12,644 | 14,746 |
| 保険料等収入 | 12,301 | 14,146 |
| 保険料 | 9,566 | 10,893 |
| 再保険収入 | 2,734 | 3,252 |
| 資産運用収益 | 259 | 558 |
| 利息及び配当金等収入 | 215 | 273 |
| 金銭の信託運用益 | 26 | 169 |
| 有価証券売却益 | 17 | 115 |
| その他経常収益 | 84 | 41 |
| 支払備金戻入額 | 45 | — |
| その他の経常収益 | 38 | 41 |
| 経常費用 | 14,071 | 17,239 |
| 保険金等支払金 | 4,066 | 5,738 |
| 保険金 | 1,315 | 1,240 |
| 給付金 | 693 | 1,570 |
| その他返戻金 | 0 | 0 |
| 再保険料 | 2,057 | 2,926 |
| 責任準備金等繰入額 | 3,208 | 4,050 |
| 支払備金繰入額 | — | 577 |
| 責任準備金繰入額 | 3,208 | 3,473 |
| 資産運用費用 | 0 | 92 |
| 支払利息 | 0 | 1 |
| 有価証券売却損 | — | 91 |
| 為替差損 | 0 | — |
| 事業費 | 5,885 | 6,551 |
| その他経常費用 | 911 | 806 |
| 経常損失(△) | △1,427 | △2,492 |
| 特別損失 | 47 | 14 |
| 固定資産等処分損 | 36 | 1 |
| 特別法上の準備金繰入額 | 10 | 13 |
| 価格変動準備金繰入額 | 10 | 13 |
| 税引前中間純損失(△) | △1,474 | △2,507 |
| 法人税及び住民税 | 1 | 1 |
| 法人税等合計 | 1 | 1 |
| 中間純損失(△) | △1,476 | △2,509 |

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | | | |
|------------------------|--------|--------|---------|---------------------|---------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 自己株式 | 株主資本合計 |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 16,731 | 16,731 | 16,731 | △18,616 | △18,616 | △0 | 14,846 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | |
| 新株の発行 | 4,885 | 4,885 | 4,885 | | | | 9,771 |
| 新株の発行 (譲渡制限付株式報酬) | 21 | 21 | 21 | | | | 43 |
| 新株の発行 (新株予約権の行使) | 13 | 13 | 13 | | | | 26 |
| 中間純損失 (△) | | | | △1,476 | △1,476 | | △1,476 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額) | | | | | | | |
| 当中間期変動額合計 | 4,920 | 4,920 | 4,920 | △1,476 | △1,476 | — | 8,365 |
| 当中間期末残高 | 21,652 | 21,652 | 21,652 | △20,093 | △20,093 | △0 | 23,211 |

| | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|------------------------|------------------|----------------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 評価・換算差額 等合計 | |
| 当期首残高 | 960 | 960 | 15,806 |
| 当中間期変動額 | | | |
| 新株の発行 | | | 9,771 |
| 新株の発行 (譲渡制限付株式報酬) | | | 43 |
| 新株の発行 (新株予約権の行使) | | | 26 |
| 中間純損失 (△) | | | △1,476 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額) | 213 | 213 | 213 |
| 当中間期変動額合計 | 213 | 213 | 8,578 |
| 当中間期末残高 | 1,173 | 1,173 | 24,385 |

当中間会計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | | | |
|------------------------|--------|--------|---------|---------------------|---------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 自己株式 | 株主資本合計 |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 21,655 | 21,655 | 21,655 | △21,936 | △21,936 | △0 | 21,373 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | |
| 新株の発行 (譲渡制限付株式報酬) | 21 | 21 | 21 | | | | 43 |
| 中間純損失 (△) | | | | △2,509 | △2,509 | | △2,509 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額) | | | | | | | |
| 当中間期変動額合計 | 21 | 21 | 21 | △2,509 | △2,509 | △0 | △2,465 |
| 当中間期末残高 | 21,676 | 21,676 | 21,676 | △24,446 | △24,446 | △0 | 18,907 |

| | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|------------------------|------------------|----------------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 評価・換算差額 等合計 | |
| 当期首残高 | 697 | 697 | 22,071 |
| 当中間期変動額 | | | |
| 新株の発行 (譲渡制限付株式報酬) | | | 43 |
| 中間純損失 (△) | | | △2,509 |
| 自己株式の取得 | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額) | △954 | △954 | △954 |
| 当中間期変動額合計 | △954 | △954 | △3,420 |
| 当中間期末残高 | △257 | △257 | 18,650 |

(4) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前中間会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|--|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前中間純損失 (△) | △1,474 | △2,507 |
| 減価償却費 | 206 | 197 |
| 支払備金の増減額 (△は減少) | △45 | 577 |
| 責任準備金の増減額 (△は減少) | 3,208 | 3,473 |
| 価格変動準備金の増減額 (△は減少) | 10 | 13 |
| 利息及び配当金等収入 | △215 | △273 |
| 有価証券関係損益 (△は益) | △17 | △24 |
| 支払利息 | 0 | 1 |
| 有形固定資産関係損益 (△は益) | — | 0 |
| 株式交付費 | 130 | — |
| 代理店貸の増減額 (△は増加) | 0 | △0 |
| 再保険貸の増減額 (△は増加) | △736 | △435 |
| その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加) | △119 | △108 |
| 代理店借の増減額 (△は減少) | △13 | 27 |
| 再保険借の増減額 (△は減少) | 34 | 31 |
| その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少) | △198 | △183 |
| その他 | 31 | △145 |
| 小計 | 801 | 642 |
| 利息及び配当金等の受取額 | 325 | 343 |
| 利息の支払額 | △0 | △1 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △6 | △0 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,119 | 983 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 金銭の信託の増加による支出 | — | △0 |
| 金銭の信託の減少による収入 | 500 | — |
| 有価証券の取得による支出 | △2,759 | △6,796 |
| 有価証券の売却・償還による収入 | 576 | 4,411 |
| 資産運用活動計 | △1,683 | △2,385 |
| 営業活動及び資産運用活動計 | △563 | △1,401 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △15 | △0 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △267 | △164 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,965 | △2,550 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 株式の発行による収入 | 9,712 | — |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | 26 | — |
| 自己株式の取得による支出 | — | △0 |
| リース債務の返済による支出 | △2 | △1 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 9,736 | △1 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 8,891 | △1,568 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,059 | 7,761 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 11,950 | 6,193 |

(5) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当中間会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過期的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、中間財務諸表に与える影響はありません。